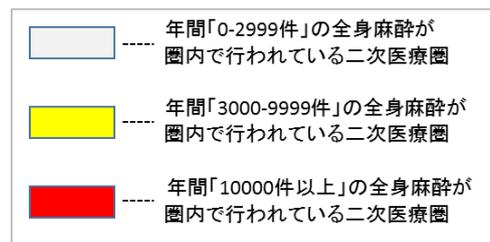
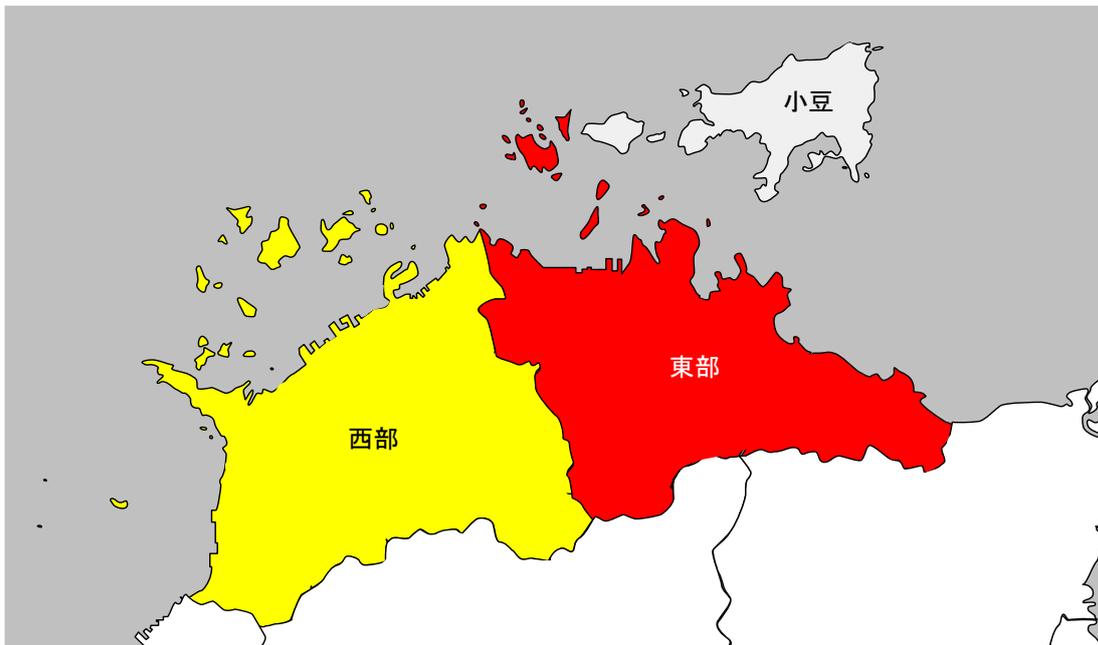


37. 香川県



目次

香川県	37	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	37	-	7
1. 東部医療圏	37	-	19
2. 小豆医療圏	37	-	23
3. 西部医療圏	37	-	27

37. 香川県

(香川県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 香川県は、総人口約950千人(2020年)、面積1,877km²、人口密度は506人/km²である。

*人口の将来予測： 香川県の総人口は2030年に889千人へと減少し(2020年比-6%)、2045年に776千人へと減少する(2030年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の156千人が、2030年にかけて191千人へと増加し(2020年比+22%)、2045年には173千人へと減少する(2030年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 香川県の一人当たり医療費(国保)は451千円(偏差値67)、介護給付費は282千円(偏差値56)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が55(病院医師数56、診療所医師数51)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 香川県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15,660人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が9,531床(偏差値54)、高齢者住宅等が6,129床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、11,659人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設52、介護医療院51、有料老人ホーム43、軽費ホーム57、グループホーム52、サ高住53である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,662人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

2. 推移

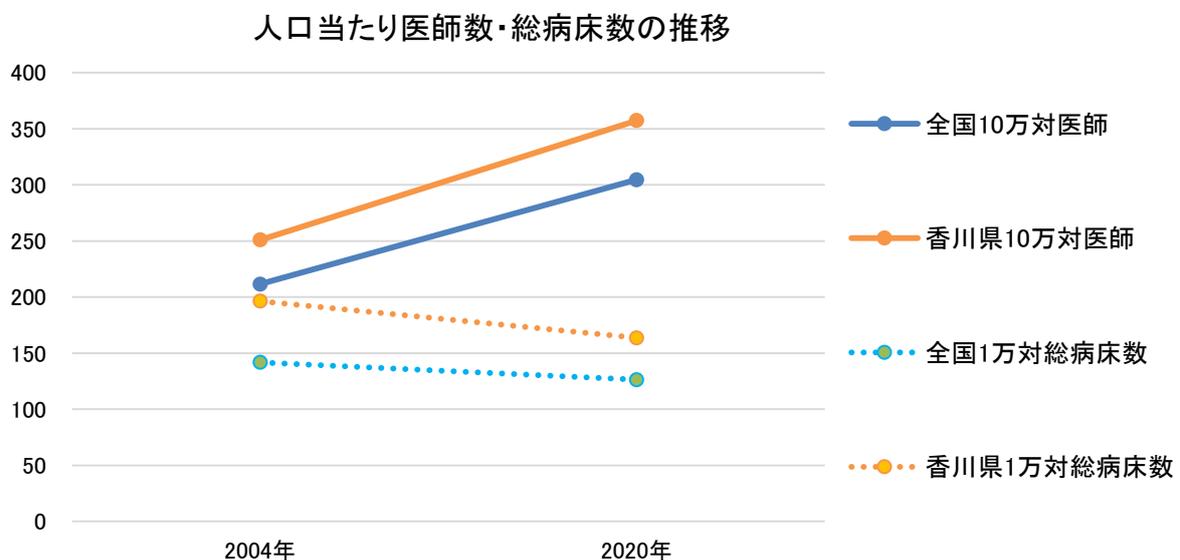
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は105(人口10万人当たり10.4病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2020年に88(人口10万人当たり9.3病院(全国平均6.5)偏差値57)となり、16年間で17病院が減少した。

2004年の診療所数は805(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2020年に828(人口10万人当たり87診療所(全国平均81)偏差値53)と、23診療所が増加した。

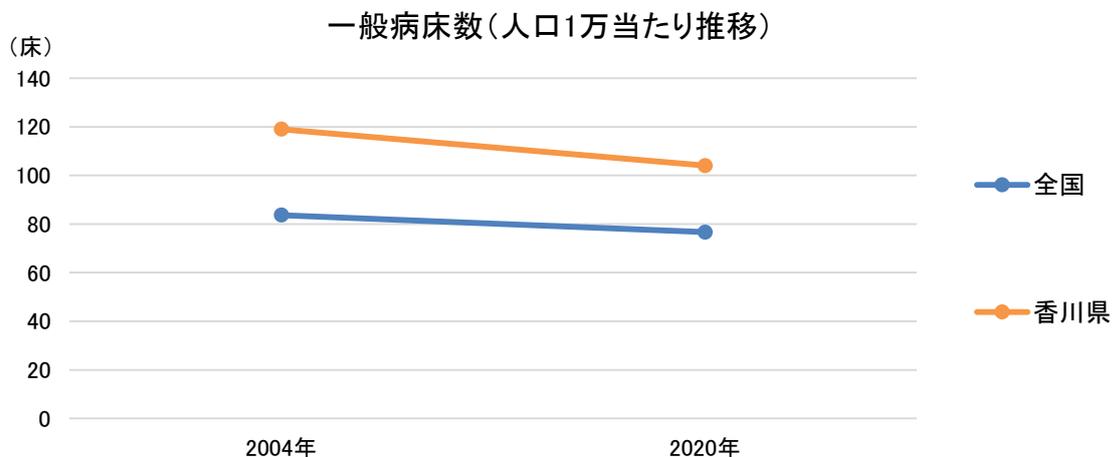
2004年の総病床数は19,883床(人口1万人当たり196(全国平均142)偏差値60)であったが、2020年に15,552床(人口1万人当たり164(全国平均126)偏差値57)と、4,331床の減少、率にして22%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は2,542人(人口10万人当たり251人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2020年に3,397人(人口10万人当たり357人(全国平均305人)偏差値55)と、855人の増加、率にして34%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



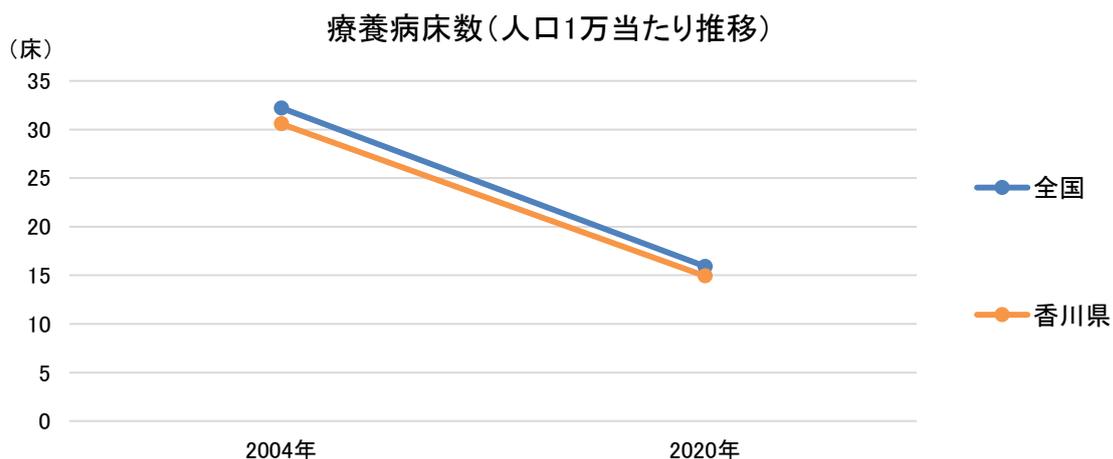
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は12,053床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値63)であったが、2020年に9,890床(人口1万人当たり104(全国平均77)偏差値60)と、2,163床の減少、率にして18%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は3,589床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2020年に2,327床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均16)偏差値49)と、1262床の減少、率にして35%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 37-1 地理情報・人口情報

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率
全国	126,146		372,959		338.2		29%
香川県	950	39位	1,877	47位	506.3		32%
東部	523	55%	777	41%	672.9	地方都市型	30%
小豆	27	3%	170	9%	157.2	過疎地域型	44%
西部	401	42%	930	50%	431.0	地方都市型	33%
出典	<人口>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <面積>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月						

資_図表 37-2 人口動態

二次医療圏	2020年 総人口 (単位: 千人)	2030年 総人口 (単位: 千人)	2045年 総人口 (単位: 千人)	2020年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2030年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2045年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2020→ 30年 総人口 増減率	2030→ 45年 総人口 増減率	2020→ 30年 75歳以上 人口 増減率	2030→ 45年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,146	119,125	106,421	18,602	22,884	22,767	-6%	-11%	23%	-1%
香川県	950	889	776	156	191	173	-6%	-13%	22%	-9%
東部	523	499	448	81	102	98	-5%	-10%	26%	-4%
小豆	27	22	16	6	7	5	-19%	-27%	17%	-29%
西部	401	367	313	68	82	70	-8%	-15%	21%	-15%
出典	<人口(2020年)>令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月 <人口(2030年、2045年)>市区町村別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月									

資_図表 37-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	地域差 指数	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	地域差 指数
全国	372	(46)	1.000	147	(33)	1.000	199	(18)	1.000	263	(33)	
香川県	451	67	1.148	188	63	1.220	233	69	1.102	282	56	
東部	443	65	1.135	180	60	1.169	233	69	1.112	296	60	
小豆	465	70	1.121	221	73	1.349	220	62	0.990	295	60	
西部	459	69	1.155	196	65	1.249	234	70	1.095	264	50	
出典	<一人あたり医療費>令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>令和元年度介護保険事業状況報告(年報) 令和元年度累計(平成31年3月サービス分から令和元年2月サービス分まで) ※愛知県、福岡県、沖縄県の一部市町村は二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、介護給付費の二次医療圏値の算定には構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。											

資_図表 37-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	937	(123)	1.000	475	(103)	1.000	426	(38)	1.000
香川県	979	53	1.044	485	51	1.011	455	57	1.079
東部	979	53	1.048	468	49	0.977	471	62	1.121
小豆	813	40	0.860	421	45	0.848	372	36	0.897
西部	993	55	1.053	512	54	1.051	444	55	1.055
出典	＜一人あたり後期高齢者医療費＞令和元年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 37-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数			
					診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,238		6.5	(4.2)	102,612		81	(19.4)
香川県	88	1.1%	9.3	57	828	0.8%	87	53
東部	42	48%	8.0	54	484	58%	93	56
小豆	3	3%	11.2	61	16	2%	60	39
西部	43	49%	10.7	60	328	40%	82	50
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 37-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	102,612		81	(19.4)	96,309		76	(19.2)	6,303		5.0	(5.6)
香川県	828	0.8%	87	53	740	0.8%	78	51	88	1.4%	9.3	58
東部	484	58%	93	56	430	58%	82	53	54	61%	10.3	59
小豆	16	2%	60	39	16	2%	60	41	0	0%	0	41
西部	328	40%	82	50	294	40%	73	48	34	39%	8.5	56
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 37-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,507,526		1,195	(487)	86,046		68	(87)	1,593,572		1,263	(538)
香川県	14,137	0.9%	1,488	56	1,415	1.6%	149	59	15,552	1.0%	1,637	57
東部	7,045	50%	1,348	53	816	58%	156	60	7,861	51%	1,504	54
小豆	465	3%	1,741	61	0	0%	0	42	465	3%	1,741	59
西部	6,627	47%	1,654	59	599	42%	149	59	7,226	46%	1,803	60
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 37-8 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	887,920		704	(229)	289,114		229	(184)	324,481		257	(223)
香川県	8,662	1.0%	912	59	2,140	0.7%	225	50	3,279	1.0%	345	54
東部	4,807	55%	920	59	815	38%	156	46	1,384	42%	265	50
小豆	191	2%	715	50	81	4%	303	54	184	6%	689	69
西部	3,664	42%	914	59	1,244	58%	310	54	1,711	52%	427	58
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 37-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期				地域包括			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69	(53)	74,859		59	(78)
香川県	643	0.7%	68	50	938	1.3%	99	55
東部	259	40%	50	46	517	55%	99	55
小豆	0	0%	0	37	27	3%	101	55
西部	384	60%	96	55	394	42%	98	55
出典	令和4年4月地方厚生局				令和4年4月地方厚生局			

37.香川県(2022年版)

資_図表 37-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数の 比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数の 比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	441,504	395,508	14,642	1,056,086	488,026	271,703	44.8%	(26%)	5.1%	(23%)
香川県	6,343	5,611	332	7,837	3,054	1,886	64.8%	58	15.0%	54
東部	3,624	3,422	137	3,378	1,385	635	71.2%	60	17.7%	55
小豆	234	203	31	267	0	83	100.0%	71	27.2%	60
西部	2,485	1,986	164	4,192	1,669	1,168	54.3%	54	12.3%	53
出典	地方厚生局指定一覧令和4年4月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院は、「新公立病院改革プラン」・「公的医療機関等2025プラン」の策定対象病院とし、開設者が国・都道府県/市区町村/日本赤十字社/済生会/独立行政法人地域医療機能推進機構/地方独立行政法人/独立行政法人国立病院機構/国家公務員共済組合連合会などの病院を含む(ただし地域医療支援病院と特定機能病院については上記に適合しない学校法人の大学病院など全て民間に分類)。これら以外を民間病院としている。指定一覧掲載施設のうち、休止中の病院等は除外している。									

資_図表 37-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
									全国
香川県	19,183	0.8%	2,019	52	6,864	0.8%	722	52	
東部	12,385	65%	2,369	57	3,912	57%	748	53	
小豆	43	0%	161	29	108	2%	404	40	
西部	6,755	35%	1,686	48	2,844	41%	710	52	
出典	令和3年度病床機能報告 (令和2年4月～令和3年3月)				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月 ※令和2年9月の月間件数×12				

資_図表 37-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
香川県	3,397	0.9%	357	55	2,300	0.9%	242	56	1,097	0.8%	115	51
東部	2,142	63%	410	61	1,472	64%	282	62	671	61%	128	55
小豆	52	2%	194	39	38	2%	141	43	14	1%	54	33
西部	1,203	35%	300	50	791	34%	197	51	412	38%	103	47
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 37-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科 専門医数				小児科 専門医数				産婦人科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	33,119		26.3	(12.4)	14,168		11.2	(4.9)	11,602		9.2	(4.3)
香川県	288	0.9%	30.3	53	119	0.8%	12.5	53	84	0.7%	8.8	49
東部	206	72%	39.4	61	70	59%	13.4	54	53	63%	10.1	52
小豆	5	2%	18.7	44	2	2%	7.5	42	1	1%	3.7	37
西部	77	27%	19.2	44	47	39%	11.7	51	30	36%	7.5	46
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 37-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科 専門医数				眼科 専門医数				耳鼻咽喉科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	5,948		4.7	(2.3)	9,835		7.8	(3.1)	7,558		6.0	(2.7)
香川県	48	0.8%	5.1	51	86	0.9%	9.1	54	77	1.0%	8.1	58
東部	29	60%	5.5	54	55	64%	10.5	59	49	64%	9.4	63
小豆	1	2%	3.7	46	0	0%	0	25	1	1%	3.7	42
西部	18	38%	4.5	49	31	36%	7.7	50	27	35%	6.7	53
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 37-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数				外科 専門医数				整形外科 専門医数			
	県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シエ7	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	9,934		7.9	(3.6)	22,312		17.7	(7.0)	17,476		13.9	(4.9)
香川県	82	0.8%	8.6	52	188	0.8%	19.8	53	182	1.0%	19.2	61
東部	37	45%	7.1	48	126	67%	24.1	59	111	61%	21.2	65
小豆	4	5%	15.0	70	3	2%	11.2	41	1	1%	3.7	29
西部	41	50%	10.2	57	59	31%	14.7	46	70	38%	17.5	57
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

37.香川県(2022年版)

資_図表 37-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科 専門医数				脳神経外科 専門医数				放射線科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		5.0	(2.2)			5.7	(2.5)			5.1	(3.3)	
香川県	82	1.3%	8.6	66	72	1.0%	7.6	58	67	1.0%	7.1	56
東部	55	67%	10.5	75	46	64%	8.8	63	43	64%	8.2	59
小豆	1	1%	3.7	44	1	1%	3.7	42	1	1%	3.7	46
西部	26	32%	6.5	57	25	35%	6.2	52	23	34%	5.7	52
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 37-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科 専門医数				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		6.3	(3.5)			1.4	(1.0)			3.7	(2.3)	
香川県	68	0.9%	7.2	52	21	1.2%	2.2	58	30	0.6%	3.2	48
東部	46	68%	8.8	57	15	71%	2.9	64	16	53%	3.1	47
小豆	0	0%	0	32	0	0%	0	36	0	0%	0	34
西部	22	32%	5.5	48	6	29%	1.5	51	14	47%	3.5	49
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月											

資_図表 37-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数				リハビリテー ション科 専門医数			
	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国		1.9	(1.4)			2.3	(1.6)	
香川県	17	0.7%	1.8	49	42	1.5%	4.4	63
東部	14	82%	2.7	56	27	64%	5.2	68
小豆	0	0%	0	37	0	0%	0	36
西部	3	18%	0.7	42	15	36%	3.7	59
出典	令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月							

資_図表 37-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,164,671		923	(286)	918,226		728	(238)	246,444		195	(75)
香川県	11,408	1.0%	1,200	60	9,037	1.0%	951	59	2,371	1.0%	249	57
東部	6,181	54%	1,182	59	4,767	53%	912	58	1,413	60%	270	60
小豆	213	2%	797	46	180	2%	675	48	33	1%	122	40
西部	5,014	44%	1,251	61	4,089	45%	1,020	62	925	39%	231	55
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月			

資_図表 37-20 療法士総数と薬剤師数

二次医療圏	療法士総数				薬剤師数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	149,112		118	(62)	321,982		255	(99)
香川県	1,412	0.9%	149	55	2,510	0.8%	264	51
東部	706	50%	135	53	1,528	61%	292	54
小豆	19	1%	71	42	53	2%	198	44
西部	687	49%	171	59	929	37%	232	48
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和2年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 令和2年12月			

資_図表 37-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,280		0.8	(0.4)	1,698		0.1	(0.1)	14,163		0.8	(0.3)
香川県	131	0.9%	0.8	50	14	0.8%	0.1	50	106	0.7%	0.7	47
東部	73	56%	0.9	52	8	57%	0.1	51	66	62%	0.8	52
小豆	2	2%	0.3	38	1	7%	0.2	59	3	3%	0.5	39
西部	56	43%	0.8	50	5	36%	0.1	48	37	35%	0.5	41
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和4年5月			

37.香川県(2022年版)

資_図表 37-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差
全国	1,806,963		97	(15)	1,036,035		56	(14)	770,928		41	(14)
香川県	15,660	0.9%	101	52	9,531	0.9%	61	54	6,129	0.8%	39	48
東部	8,106	52%	100	52	4,205	44%	52	47	3,901	64%	48	55
小豆	576	4%	91	46	540	6%	85	71	36	1%	6	24
西部	6,978	45%	102	53	4,786	50%	70	60	2,192	36%	32	43
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 37-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数				介護医療院定員数			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.3)	605,983		33	(10.0)	25,266		1.4	(2.6)	39,703		2.1	(3.5)
香川県	3,707	1.0%	24	57	5,131	0.8%	33	50	293	1.2%	1.9	52	400	1.0%	2.6	51
東部	1,651	45%	20	51	2,247	44%	28	45	149	51%	1.8	52	158	40%	1.9	49
小豆	140	4%	22	54	360	7%	57	74	0	0%	0	45	40	10%	6.3	62
西部	1,916	52%	28	63	2,524	49%	37	54	144	49%	2.1	53	202	51%	3.0	52
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの															

資_図表 37-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.4)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.6)
香川県	1,123	0.4%	7.2	43	429	1.8%	2.8	57	1,949	0.9%	12.5	52
東部	761	68%	9.4	45	199	46%	2.4	55	1,176	60%	14.5	55
小豆	0	0%	0	35	0	0%	0	44	36	2%	5.7	40
西部	362	32%	5.3	41	230	54%	3.4	60	737	38%	10.8	49
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 37-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(特定施設)			サ高住(非特定施設)							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	274,702		14.8	(7.0)	33,108	1.8	(2.0)	241,594	13.0	(6.6)		
香川県	2,628	1.0%	16.9	53	457	1.4%	2.9	56	2,171	0.9%	13.9	51
東部	1,765	67%	21.7	60	233	51%	2.9	56	1,532	71%	18.9	59
小豆	0	0%	0	29	0	0%	0	41	0	0%	0	30
西部	863	33%	12.7	47	224	49%	3.3	58	639	29%	9.4	45
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和4年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 37-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			訪問看護							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	188,635		10.1	(2.3)	119,762	6.4	(2.1)	68,873	3.7	(1.3)		
香川県	1,819	1.0%	11.7	57	1,332	1.1%	8.6	60	487	0.7%	3.1	46
東部	973	53%	12.0	58	664	50%	8.2	58	309	63%	3.8	51
小豆	63	3%	10.0	49	52	4%	8.3	59	11	2%	1.7	35
西部	783	43%	11.5	56	616	46%	9.0	63	167	34%	2.5	40
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 37-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	介護施設等			在宅介護							
		全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	1,556,622		84	(12.7)	1,327,531	71	(12.4)	229,090	12.3	(5.1)		
香川県	13,321	0.9%	86	51	11,659	0.9%	75	53	1,662	0.7%	10.7	47
東部	7,458	56%	92	56	6,309	54%	78	55	1,149	69%	14.1	54
小豆	556	4%	88	53	506	4%	80	57	50	3%	7.9	41
西部	5,308	40%	78	45	4,845	42%	71	50	463	28%	6.8	39
出典	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

37.香川県(2022年版)

資_図表 37-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,477,229		79	(35)	677,400		36	(14)	1,147,886		62	(23)
香川県	13,689	0.9%	88	52	4,196	0.6%	27	43	8,437	0.7%	54	47
東部	8,784	64%	108	58	3,142	75%	39	52	5,918	70%	73	55
小豆	659	5%	104	57	94	2%	15	35	298	4%	47	44
西部	4,246	31%	62	45	960	23%	14	34	2,221	26%	33	37
出典	令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月				令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二 次医療圏別に集計したもの							

資_図表 37-29 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.8)	8,238	6.5	(4.2)	-839	-9%
香川県	105	10.4	58	88	9.3	57	-17	-16%
東部	51	9.4	56	42	8.0	54	-9	-18%
小豆	4	11.9	62	3	11.2	61	-1	-25%
西部	50	11.5	61	43	10.7	60	-7	-14%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 37-30 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,612	81	(19)	5,561	6%
香川県	805	80	52	828	87	53	23	3%
東部	469	87	55	484	93	56	15	3%
小豆	15	45	34	16	60	39	1	7%
西部	321	74	49	328	82	50	7	2%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 37-31 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	384,332	305	(99)	113,961	42%
香川県	2,542	251	55	3,397	357	55	855	34%
東部	1,547	285	59	2,142	410	61	595	38%
小豆	55	163	44	52	194	39	-3	-6%
西部	940	215	50	1,203	300	50	263	28%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 37-32 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,593,572	126	(54)	-218,982	-12%
香川県	19,883	196	60	15,552	164	57	-4,331	-22%
東部	10,176	188	58	7,861	150	54	-2,315	-23%
小豆	635	189	58	465	174	59	-170	-27%
西部	9,072	208	62	7,226	180	60	-1,846	-20%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 37-33 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	967,030	77	(27)	-101,791	-10%
香川県	12,053	119	63	9,890	104	60	-2,163	-18%
東部	6,844	126	65	5,539	106	61	-1,305	-19%
小豆	266	79	48	191	71	48	-75	-28%
西部	4,943	113	61	4,160	104	60	-783	-16%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2020年>令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

資_図表 37-34 療養病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2020年			2004→2020増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	296,050	16	(9)	-77,773	-21%
香川県	3,589	31	49	2,327	15	49	-1,262	-35%
東部	1,447	26	46	899	11	45	-548	-38%
小豆	171	29	48	81	13	47	-90	-53%
西部	1,971	36	52	1,347	20	54	-624	-32%
出典	<療養病床数2004年> 平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2020年> 令和2年医療施設静態調査 厚生労働省 令和2年10月							

37-1. ^{と う ぶ} 東部医療圏

構成市区町村

[高松市](#)

[三木町](#)

[直島町](#)

[さぬき市](#)

[東かがわ市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東部(高松市)は、総人口約523千人(2020年)、面積777km²、人口密度は673人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東部の総人口は2030年に499千人へと減少し(2020年比-5%)、2045年に448千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の81千人が、2030年にかけて102千人へと増加し(2020年比+26%)、2045年には98千人へと減少する(2030年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は443千円(偏差値65)、介護給付費は296千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が61(病院医師数62、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の香川県立中央病院(特定群・救命)、高松赤十字病院(特定群)、香川大学医学部附属病院(大学本院群・救命)、1000例以上の高松市立みんなの病院(標準群)、500例以上の屋島総合病院(標準群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 療養士総数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,106人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4,205床(偏差値47)、高齢者住宅等が3,901床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,309人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設52、介護医療院49、有料老人ホーム45、軽費ホーム55、グループホーム55、サ高住60である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,149人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

(東部医療圏) 2. 推移

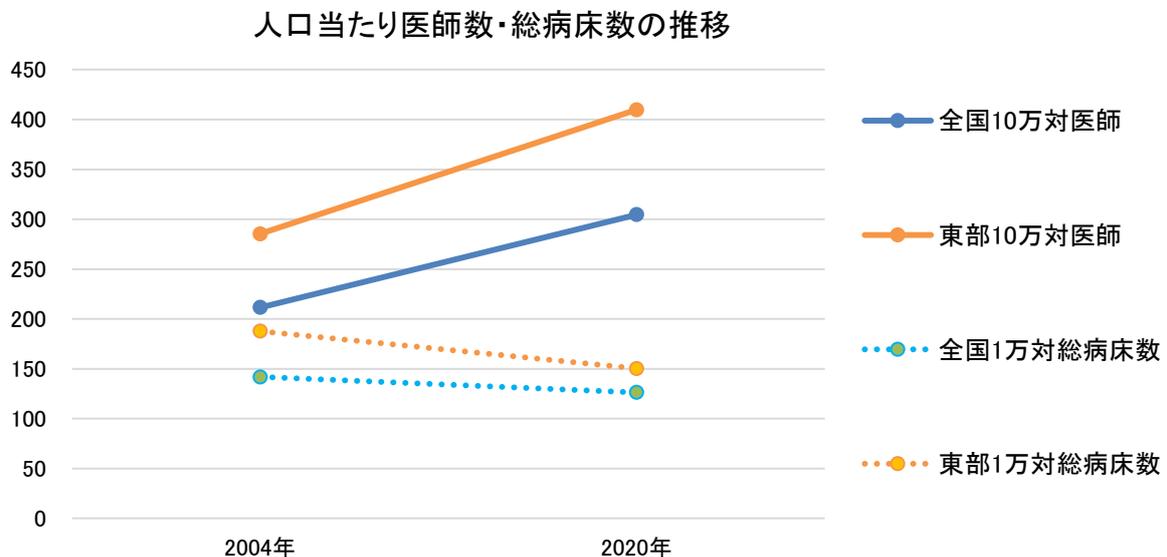
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は51(人口10万人当たり9.4病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2020年に42(人口10万人当たり8病院(全国平均6.5)偏差値54)となり、16年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数は469(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2020年に484(人口10万人当たり93診療所(全国平均81)偏差値56)と、15診療所が増加した。

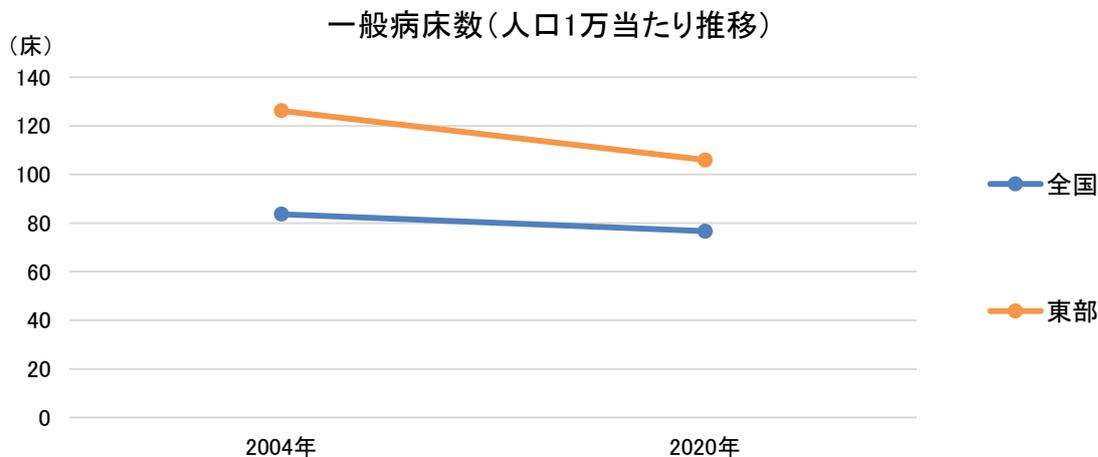
2004年の総病床数は10,176床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2020年に7,861床(人口1万人当たり150(全国平均126)偏差値54)と、2,315床の減少、率にして23%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は1,547人(人口10万人当たり285人(全国平均212人)偏差値59)であったが、2020年に2,142人(人口10万人当たり410人(全国平均305人)偏差値61)と、595人の増加、率にして38%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



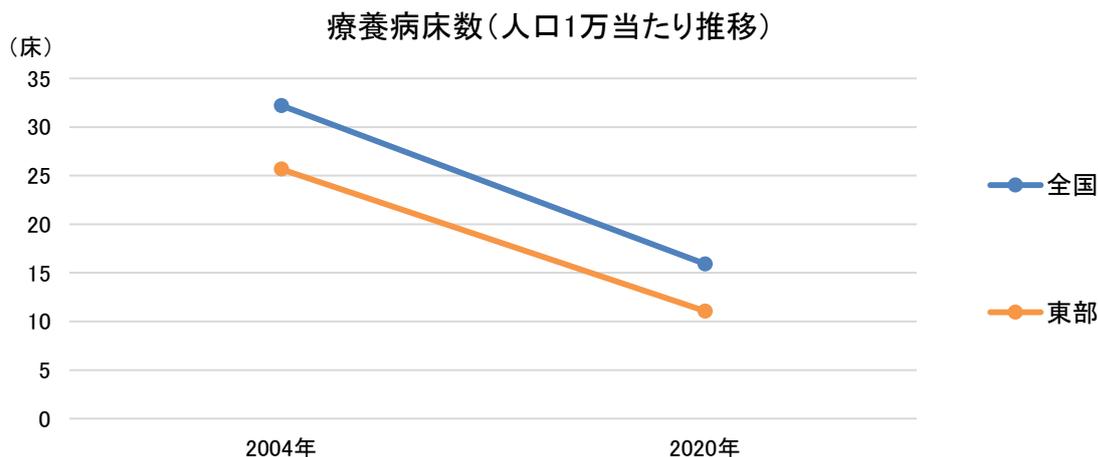
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は6,844床(人口1万人当たり126(全国平均84)偏差値65)であったが、2020年に5,539床(人口1万人当たり106(全国平均77)偏差値61)と、1,305床の減少、率にして19%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,447床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2020年に899床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均16)偏差値45)と、548床の減少、率にして38%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



37-2. ^{しょうず}小豆医療圏

構成市区町村

[土庄町](#)

[小豆島町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(小豆医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 小豆(小豆郡土庄町)は、総人口約27千人(2020年)、面積170km²、人口密度は157人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 小豆の総人口は2030年に22千人へと減少し(2020年比-19%)、2045年に16千人へと減少する(2030年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の6千人が、2030年にかけて7千人へと増加し(2020年比+17%)、2045年には5千人へと減少する(2030年比-27%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 小豆の一人当たり医療費(国保)は465千円(偏差値70)、介護給付費は295千円(偏差値60)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数43、診療所医師数33)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は29と非常に少ない。小豆には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 療法士総数は偏差値42と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 小豆の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、576人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が540床(偏差値71)、高齢者住宅等が36床(偏差値24)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、506人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム74、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院62、有料老人ホームなし(偏差値35)、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム40、サ高住なし(偏差値29)である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、50人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(小豆医療圏) 2. 推移

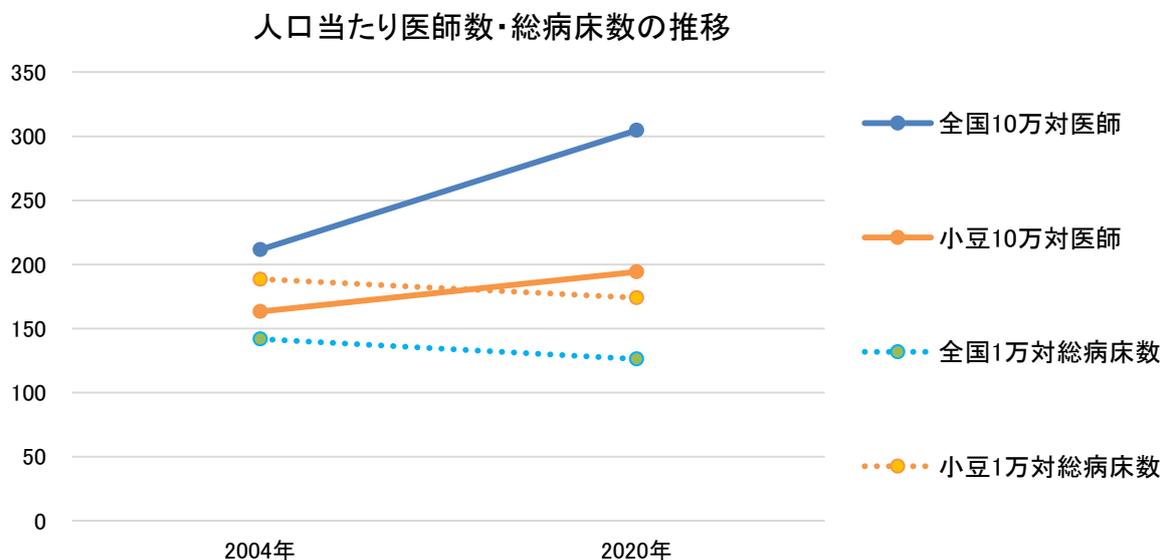
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は4(人口10万人当たり11.9病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2020年に3(人口10万人当たり11.2病院(全国平均6.5)偏差値61)となり、16年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数は15(人口10万人当たり45診療所(全国平均76)偏差値34)であったが、2020年に16(人口10万人当たり60診療所(全国平均81)偏差値39)と、1診療所が増加した。

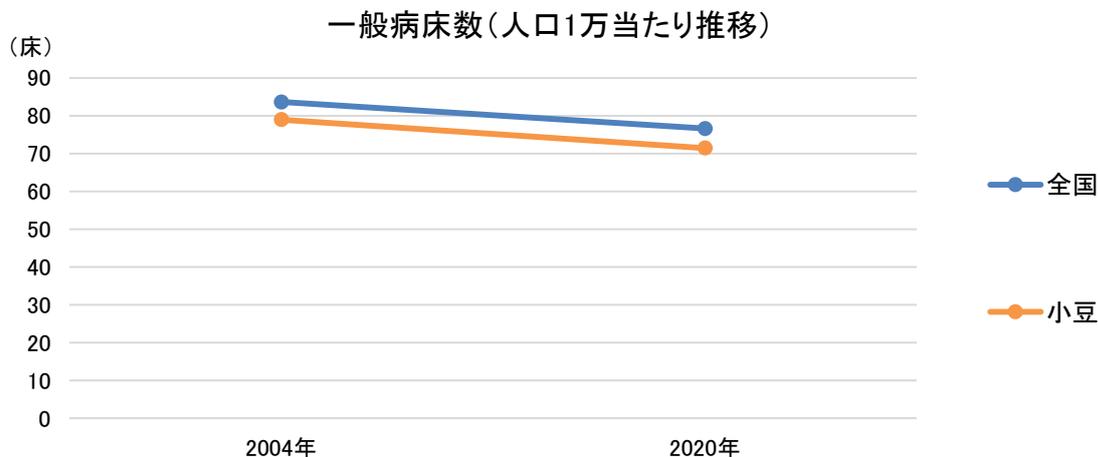
2004年の総病床数は635床(人口1万人当たり189(全国平均142)偏差値58)であったが、2020年に465床(人口1万人当たり174(全国平均126)偏差値59)と、170床の減少、率にして27%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は55人(人口10万人当たり163人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2020年に52人(人口10万人当たり194人(全国平均305人)偏差値39)と、3人の減少、率にして6%の減少(全国平均42%の増加)が見られた。



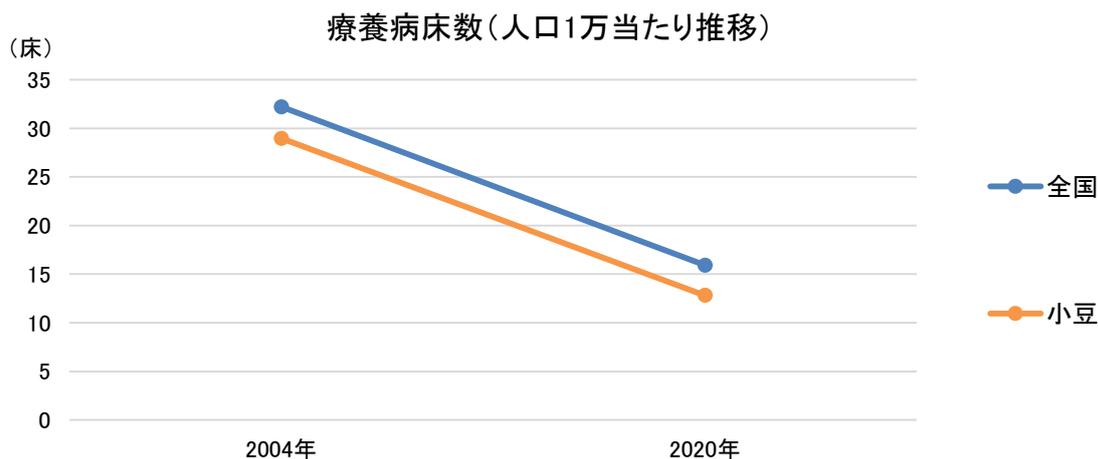
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は266床(人口1万人当たり79(全国平均84)偏差値48)であったが、2020年に191床(人口1万人当たり71(全国平均77)偏差値48)と、75床の減少、率にして28%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は171床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2020年に81床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均16)偏差値47)と、90床の減少、率にして53%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。



37-3. ^{せ い ぶ}西部医療圏

構成市区町村	丸亀市	坂出市	善通寺市	宇多津町
	綾川町	琴平町	多度津町	まんのう町
	観音寺市	三豊市		

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

(西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：西部(丸亀市)は、総人口約401千人(2020年)、面積930km²、人口密度は431人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測：西部の総人口は2030年に367千人へと減少し(2020年比-8%)、2045年に313千人へと減少する(2030年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2020年の68千人が、2030年にかけて82千人へと増加し(2020年比+21%)、2045年には70千人へと減少する(2030年比-15%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は459千円(偏差値69)、介護給付費は264千円(偏差値50)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が50(病院医師数51、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は61と多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の香川労災病院(標準群)、1000例以上のNHQ四国こどもとおとなの医療センター(標準群)、500例以上の坂出市立病院(標準群)、三豊総合病院(標準群・救命)、回生病院(標準群)がある。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状：療法士総数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,978人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,786床(偏差値60)、高齢者住宅等が2,192床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,845人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設53、介護医療院52、有料老人ホーム41、軽費ホーム60、グループホーム49、サ高住47である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、463人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

(西部医療圏) 2. 推移

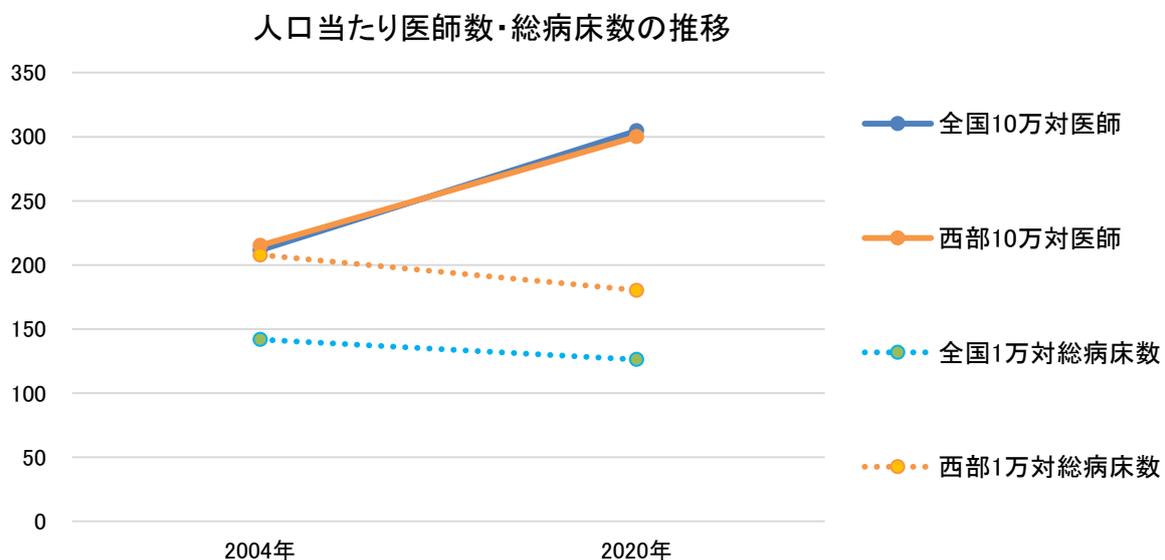
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数は50(人口10万人当たり11.5病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2020年に43(人口10万人当たり10.7病院(全国平均6.5)偏差値60)となり、16年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数は321(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2020年に328(人口10万人当たり82診療所(全国平均81)偏差値50)と、7診療所が増加した。

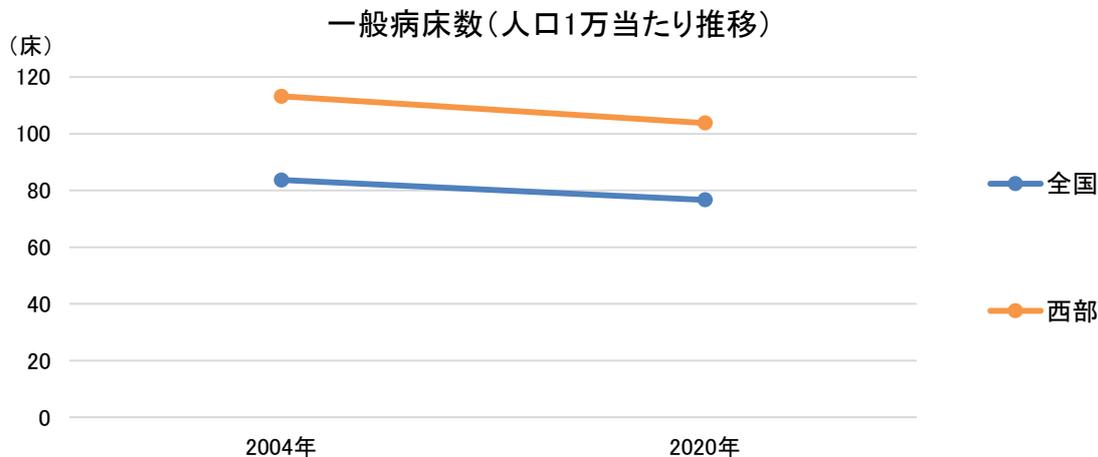
2004年の総病床数は9,072床(人口1万人当たり208(全国平均142)偏差値62)であったが、2020年に7,226床(人口1万人当たり180(全国平均126)偏差値60)と、1,846床の減少、率にして20%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数は940人(人口10万人当たり215人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2020年に1,203人(人口10万人当たり300人(全国平均305人)偏差値50)と、263人の増加、率にして28%の増加(全国平均42%の増加)が見られた。



【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)は4,943床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値61)であったが、2020年に4,160床(人口1万人当たり104(全国平均77)偏差値60)と、783床の減少、率にして16%の減少(全国平均10%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)は1,971床(75歳以上1,000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2020年に1,347床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均16)偏差値54)と、624床の減少、率にして32%の減少(全国平均21%の減少)が見られた。

